

分科会1

九州から盛り上げるA型事業所の未来

就労支援フォーラムNIPPON特別企画
「働くNIPPON！計画」A型フォーラムin熊本

自己紹介

氏 名： 井上 靖

(所属)

株式会社 ぱいおにあ 取締役統括施設長

NPO法人 夢絆(きずな) 専務理事

株式会社 未来サポート 取締役統括施設長

株式会社 未来ステーション久米島 取締役

ボランティア団体BlueJeans 代表

株式会社 未来サポートステーション 福祉部門業務総括責任者

一般社団法人 MSS

(団体)

NPO法人就労継続支援A型事業所全国協議会(全Aネット)

全国障害者就労支援ローカルネットワーク

一般社団法人福岡A型事業所協議会(12月9日障害者の日の設立に向けて準備中)

NPO法人ネットワークぷらす北九州 理事長

北九州フォーラム 実行委員会 会長

北九州紫水ライオンズクラブ

会社設立の概要



ぱいおにあグループには、
株式会社ぱいおにあ、NP
O法人 夢絆、株式会社
未来ステーション久米島、
株式会社未来サポート、
一般社団法人MSSの5
社です



年	月		備 考
平成18	12	(株)未来サポートステーションが吉志で就労継続支援A型を開始	未来サポートステーション 北九州（定員10名）
平成19	10	未来サポートステーション北九州定員を20名に増す	
平成20	2	経営不振ため株式会社ぱいおにかに譲渡	
平成21	1	相談支援事業開始	未来サポートステーション 北九州
平成21	6	定員30名に増やす。	
平成21	9	地域活性化を目標に地元自治会の有志とNPO法人夢絆を設立	
平成21	10	北九州市立総合療育センター内に従たる事業所を設立	未来サポートステーション 若園（定員10名）
平成22	10	八幡東区にNPO法人の依頼により従たる事業所を設立	未来サポートステーション 中央（定員10名）
平成23	10	八幡西区陣山に主たる事業所を設立	未来サポートステーション 八幡（定員30名）
平成23	10	小倉南区守恒に共同生活援助事業所を設立	NPO法人夢絆 未来サポートステーション 樹(定員10名)
平成25	3	沖縄県久米島に就労継続支援B型事業所を設立	(株)未来ステーション久米島 未来サポートステーション 球美(定員 20名)
平成25	9	一般・特定・障害児相談支援事業をNPO法人に移管する	未来サポートステーション 道標
平成26	6	障がい者の親たちと株式会社未来サポートを設立	
平成26	12	沖縄県久米島に相談支援事業所を設立	(株)未来ステーション久米島 未来サポートステーション 結
平成26	9	就労継続支援A型未来亭を設立	(株)未来サポート 未来サポートステーション 門司(定員20名)
平成27	2	門司区役所食堂の委託を受ける	NPO法人夢絆
平成27	9	戸畑区役所食堂の委託を受ける	(株)未来サポート 未来サポートステーション 戸畑区役所(定員15名)
平成28	4	門司区役所食堂をNPO法人から(株)未来サポートに変更	未来サポートステーション 門司区役所(定員20名)
平成28	6	八幡東区の事業所を閉鎖	
平成29	1	新社屋設立	株式会社ぱいおにあ
平成29	2	新社屋に就労継続支援B型事業を設立	株式会社ぱいおにあ 未来サポートステーション 新門司(定員20名)
平成29	2	門司区吉志に共同生活援助事業所を設立	NPO法人夢絆 未来サポートステーション 航旗(定員9名)
平成29	5	沖縄県久米島に共同生活援助事業所を設立(定員4名)	(株)未来ステーション久米島 未来サポートステーション いちやりばーちょーで一
平成30	4	門司区黄金町に就労移行支援事業所を設立	株式会社未来サポート 未来サポートステーション関門(定員6名)

北九州における事業(1)

就労継続支援A型事業 株式会社 ぱいおにあ (3か所)

未来サポートステーション北九州 (定員30名)

未来サポートステーション若園 (定員10名)

未来サポートステーション八幡 (定員30名)

就労継続支援B型事業 株式会社 ぱいおにあ (2か所)

未来サポートステーション新門司 (定員20名)

未来サポートステーション陣山 (定員10名)



共同生活援助事業(グループホーム) NPO法人 夢絆(きずな)

未来サポートステーション樹(たつき)(定員10名)

未来サポートステーション航旗(マーク)(定員9名)

特定・障害児・一般相談支援事業 NPO法人 夢絆(きずな)

未来サポートステーション道標(しるし)



北九州における事業(2)

就労継続支援A型事業 株式会社 未来サポート (3か所)

未来サポートステーション門司 (未来亭 門司店) (定員20名)

未来サポートステーション門司区役所(未来亭 門司区役所店) (定員15名)

未来サポートステーション戸畑区役所(未来亭 戸畑区役所店) (定員15名)

就労移行支援事業 株式会社 未来サポート (1か所)

未来サポートステーション関門 (定員6名)

久米島における事業

就労継続支援B型事業 株式会社未来ステーション久米島

未来サポートステーション球美(定員20名)

特定相談支援事業 株式会社未来ステーション久米島

未来サポートステーション結

共同生活援助事業(グループホーム) 株式会社未来ステーション久米島

未来サポートステーションいちやりばーちょーでー(定員4名)



コンセプト

一般就労を経験し、何だかの理由で続けられなくなり、就労継続支援A型事業所に通うことになった利用者さんが多いので、“仕事は厳しく楽しいものだ”ということを実践することで、もう一度、一般就労にチャレンジできるように機会の提供をコンセプトしている。

楽しく就労するには、“みんな仲良く過ごすことが大切である。”仲間の失敗を責めるのでは、自分ができることを手伝おうという風潮づくりを行ってきた。

福岡A型事業所協議会

「利用者に愛される事業所を将来続けるために！！」
～今後のA型のあり方を考える～

働く楽しさ、厳しさを伝えてきて、早11年。もうすぐ12年。様々な利用者が最初に通所してきた時より、成長していきました。平成18年に制度ができてから変革が早く、ついていけなくなりそうです。

これからA型事業所は必要なんでしょうか？昨今の報酬改定におけるA型は思ったよりも優しかったとの声も多数から聞いております。国は必要しているのではないかと考えております。

私たちは、真面目に利用者の将来を考えてきました。また、近親者がそのような状態になっても自社には夢や希望も持ってこれるように頑張ってきたつもりです。

悪しきA型の話題が多く、風評被害にあっている事業所が多くないでしょうか？また、最低賃金の上がりや労働法の遵守強化などで、経営も苦しいのではないのでしょうか？情熱をもって、この難局を越えるためにネットワークをつくり、話し合いを進め、行政と共に取り組める団体を作りたく福岡A型事業所協議会を設立しました。

この画期的な制度を長く続ける為に！事業者と利用者WINWINの関係で行えるように良い事業所の情報や制度変更や共同事業の情報を発信したいと思っております。

福岡A型事業所協議会

取り組み:

第1回福岡A型事業所協議会(平成28年8月11日 福岡商工会議所)

第2回福岡A型事業所協議会

(はたらくNIPPON!計画、パワーアップフォーラム)

第3回福岡A型事業所協議会(平成30年9月1日 チクモクビル)

今後:

障害者の日である12月9日一般社団法人設立に向け準備しています。

障害者優先調達法の活用、経営セミナー等を計画しています。

小学校まで順風満帆に過ごす。

中学校1年生頃に親に反抗しだして、ぐれて悪い友達と付き合うようになり、酒やたばこや薬物に手を出してしまいそれからは、色々な犯罪に手を染めてしまい毎日、警察のお世話になり、家族との距離があき、それを親のせいにして親父とも毎日喧嘩して、ある日、妹に「ゴミ死ね」といわれて、バットを振り回される。そんな毎日過ごすこと3年。警察に捕まり、医療少年院にぶち込まれ、そこで4年間過ごして、出て真面目にやり直そうとしたけど、前科がばれて、会社にばれてクビになり、また、薬物に手を出して、また犯罪に手を染めてしまう。19歳のころに親から京都の厚生施設に入れられて、そこで薬物をやめて出ても行くところがなく、先輩を頼って四国に行き、危ない仕事をして、それが嫌になり、とうとう地元に戻っても家に帰らず、小倉で呼び込みをして暮らすけど、体調と精神を病んで入院退院後、親に頭を下げて家に帰る。

職安で今の仕事場を見つけるけど、最初は、まじめに働かず1年間3～4回行けばいい方でしたが、職員のおかげで、働くことの楽しさを知り、今に至る。これからはお世話になった人達や迷惑かけた人たちに、少しでも恩返しとかできるようになりたいし、困っている人たちの助けになれる人になりたいです。

株式会社ぱいおにあ 10周年記念における利用者の声

サービスの質を高める第一歩は 仕事に燃えても燃え尽きないために

- 職場 → 障がい者福祉の魅力を語れるか？
- 仕事(担当業務)にやりがいを感じるか？
- チカラを出しきっていないか？
- 職員の労働負担軽減策を考えているか？
- 社会からの眼差しを意識しているか？
- 期待値や目標を揚げすぎていないか？
- 自分自身の健康を真剣に考えているか？

立場上、無理して燃えないこと！

私たち自身がイキイキと働いているかが鍵

御清聴ありがとうございました。

新たに
踏み出す
一步を。